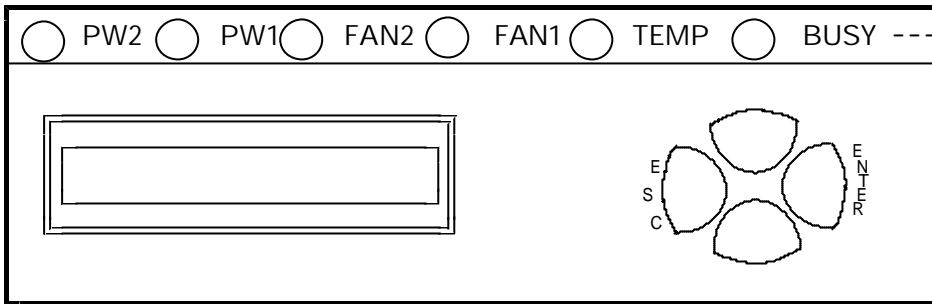


オペレータ、エンジニアのためのクイックルックマニュアル

1. 表示の見方と操作

ProRAIDのコントロールパネルは、2行×16文字のLCD、4つの押ボタンスイッチ、6つのLEDで構成。



--- レイドがアクセス中の時点灯

図1:コントロールパネル

1.1 LEDによる故障表示

- TEMP --- この表示の色が緑から赤に変わった場合、温度が45℃を超えたことを意味します。
- FAN1 --- この表示の色が緑から赤に変わった場合、冷却ファン1が故障。
- FAN2 --- この表示の色が緑から赤に変わった場合、冷却ファン2が故障。
- PW1 --- この表示が消えた場合、リダンダント電源の電源モジュール1が故障。
- PW2 --- この表示が消えた場合、リダンダント電源の電源モジュール2が故障。

以上の場合アラームが鳴りますので、サービス会社へご連絡ください。

1.2 アラームの停止方法

アラームの停止は、コントロールパネルから次のようにします。

1. [Enter]キーでMAIN MENUを表示。
2. 6.RAIDFunc sを) 下向き矢印キーで選択して[Enter]キーを押します
3. RAIDFuncs の 64 Beeperを) 下向き矢印キーで選択して[Enter]キーを押します。
4. Clear、Enable/DisableのメニューでClearを選択して[Enter]キーを押します。

1.3 コントロールパネルキー表示

各キーの機能は下記に示す通りです。

- () 上向き矢印キー --- メニュー選択の際、画面を上向きにスクロール。
- () 下向き矢印キー --- メニュー選択の際、画面を下向きにスクロール。
- [Enter]キー --- メニューの選択、サブメニューを開く、数値の選択などを行う。
- [Esc]キー --- サブメニューを終了させ、前の画面に戻る。

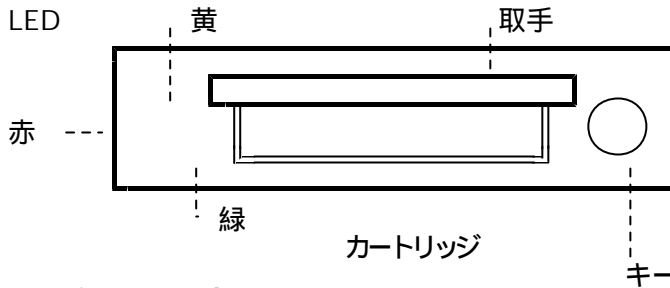
1.4 フロントパネルの液晶(LCD)表示

```
ProRAID 890U 2W
00000S R5 ID: 5
```

表示	詳細
ProRAID 8900U2W	ProRAIDのモデル番号
00000S	6つのディスクチャンネルの各ステータス。一番左の0はチャンネル1で一番上のHDD、sはチャンネル6(一番下のHDD)のステータス。
	シンボル
	詳細
	X ディスクが入っていません
	A このディスクを増設中です (Adding)
	O このディスクはオンラインです (Online)
	S このディスクがスペアに設定されています (Spare)
	R ディスクが抜き取られています (Removed)
	I このディスクをチェック中です (Inquiry)
R5	レイドのレベル (0, 1, 0+1, 3, 5) を表示します。R5はレベル5
ID: 5	ProRAIDのSCSI ID (0-15)
	カーソルで点滅は操作可を表します。

1.5 ディスクカートリッジのLED表示

赤	黄	緑	説明	状態
OFF	x	ON	ドライブがオン・ラインになっている	正常
OFF	ON	ON	ドライブがビジー状態	正常
ON	x	ON	ドライブの故障かインストールされていない	異常
ON	x	OFF	ドライブがはずれているあるいはインストールされていない	異常
OFF	x	OFF	電源が切れている	x



通常 HDD をアクセスしていない状態
すべての HDD カートリッジの緑の LED
のみが点灯。

通常 HDD をアクセスしている状態
すべての HDD カートリッジの緑と
黄の LED が点灯。

どの HDD がスペアかは LCD の "S"
の表示で判断できます。

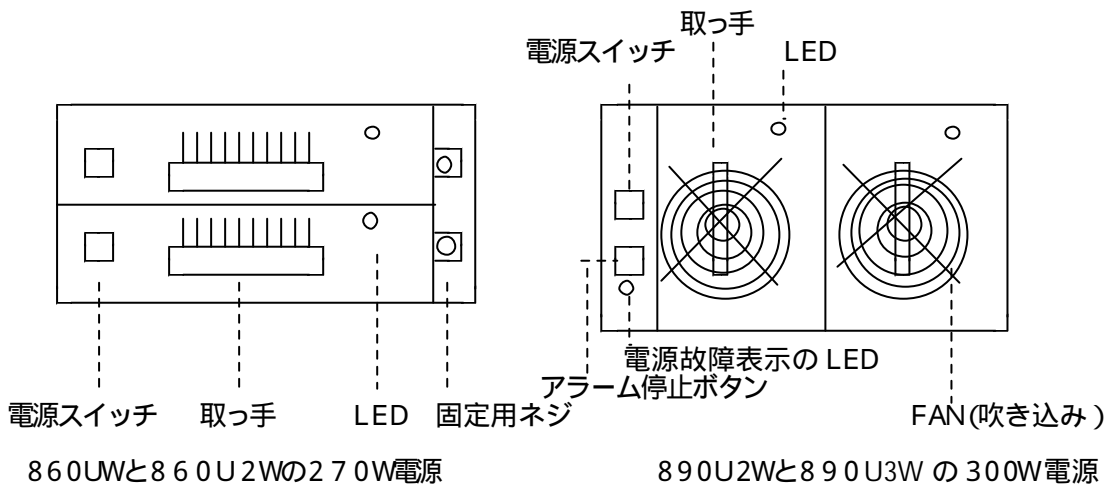
1.6 二重化電源の表示

電源は2つの電源モジュールとホット・スワップ可能な冷却ファン1つから構成されています。各電源モジュールはProRADに電圧を供給し、2つのうちどちらかの電源あるいは冷却ファンに異常が起きるとアラームが鳴りますが、1つでも動作は問題なくいたします。

裏面の電源上にある緑色のLEDは、電源が正常に作動中を意味します。緑色のLEDが消えたときは、電源モジュールに何らかの異常が起きたことを意味しますが、これはRADの作動中にシステムを停止することなく交換することができます。

860U2Wの冷却ファンには、ファンのスピードを表示するために緑色のLEDが5つ付いています。これら5つのLEDの点灯は、電源温度が高すぎる場合に冷却ファンがフル・スピードで作動していることを意味します。

もし5つのすべてのLEDが点滅している場合、冷却ファンに何らかの異常が起きたことを意味します。



2.ハードウェアのクイックインストール

2.1 ホストへの接続

ProRADは、業界標準のインターフェースであるSCSI-1、SCSI-2およびSCSI-3をサポートしています。また、Intel Power PC、RISCベースのシステム、AppleのMacintosh コンピュータ、Sunワークステーションなど、実に様々なコンピュータデバイス・ドライバーなどのソフトウェアを一切必要とせず接続することが可能です。

注意: Mac 用には別途フォーマットのソフトウェアが必要です。

2.1 SCSIコネクタの接続

- 1.電源を入れる前に、ホストケーブルの接続を行います。
2. ProRADの本体裏側には、“Host1 / IN”、“Host1 / OUT”と記された68ピン、SCSI-3、ハイ・デンシティのコネクタが1組と、“Host2 / IN”、“Host2 / OUT”と記された同じ形状のコネクタが1組付いています。両端のコネクタピンが曲がっていないかを確認して、付属の68ピンケーブルで一方はHost 1 / INに、もう一方はPC、Macなどのホストに接続して下さい。
3. Host 1 / OUTには付属の、68ピンLVD外部ターミネータを接続して下さい。
4. 電源コードを接続して電源スイッチをオンして下さい。レイドは、HDDが回転を始めて使用可能状態“READY”になるのに多少の時間かかりますので、最初に電源オンをして下さい。
5. ホストの電源を入れる前に、SCSI IDの変更の必要があるか確認して下さい。初期設定は5です。ホストを立ち上げたあとでもIDの変更はできますが、ホストのリポートが必要です。IDを変更するには、以下の2.2の作業を行って下さい。
6. ホストを立ち上げます。立ち上がったあと、“マイコンピュータ”(Macではフォーマットが必要です。)に大容量デバイスが存在しているか確認して下さい。存在していればこれで設定は終了です。

注意: “Host2 / IN”と“Host2 / OUT”は、デュアルホスト機能用です。

2.2 SCSI IDの変更方法

SCSIバス上の各デバイスは、独自のSCSI ID番号により構成されなければなりません。ProRADの初期設定では、SCSI IDは“5”になっています。SCSI IDの変更は、以下のように行ってください。

1. [Enter] キーでMAIN MENUを表示。
2. 2 SCSI Params を) 下向き矢印キーで選択して[Enter] キーを押します
3. SCSI Params の 21 Set SCSI ID を) 下向き矢印キーで選択して[Enter] キーを押します。
4. 0 から 15 の数で7以外のご希望の数を選択して[Enter] キーを押します。
つぎに、この値をNVRAMに書き込みをします。
5. [Esc] キーを押してMAIN MENUまで戻ります。
6. 5 NVRAM を) 下向き矢印キーで選択して[Enter] キーを押します。
7. 51 Update NVRAM を) 下向き矢印キーで選択して[Enter] キーを押します。
8. 53 Restart を) 下向き矢印キーで選択して[Enter] キーを押します。
これによりシステムは自動的に再起動されます。

これで設定は終了しました。電源を切ってもこの設定したIDは保持されます。

参考資料

転送モード	サイクルタイム	最大転送速度	呼称
Ultra DMA Mode 0	235 ns	16.7 MB/S	ATA - 4
Ultra DMA Mode 1	160 ns	25 MB/S	ATA - 4
Ultra DMA Mode 2	120 ns	33.3 MB/S	ATA - 4, UltraATA
Ultra DMA Mode 3	90 ns	44.4 MB/S	ATA - 5
Ultra DMA Mode 4	60 ns	66.6 MB/S	ATA - 5, UltraATA/66
Ultra DMA Mode 5	40 ns	100 MB/S	UltraATA/100